

10 月 18 日：悲観的な見方が強まり VN 指数は続落 (VN-Index - 1.63%)

- 昨日下落していたことから押し目買いが入りやすくなっており、VN 指数はわずかに上昇して取引を開始した。
- しかしながら、すぐに売り圧力が高まり、相場は下落基調となった。金融サービスセクターの上昇によって、指数はなんとか横ばいを保つのが精一杯だった。
- 2 時すぎに幅広い銘柄に売り注文が殺到し、指数は大きく下落。不動産、建設、素材が大きく売られ、相場の重しとなった。
- ポジティブな点では、ATC セッションでは買いが入りわずかに底値から反発をして取引を終えたことが挙げられる。
- 53 銘柄のみが上昇、465 銘柄が下落、変わらずは 70 銘柄と幅広い銘柄が売られていた。
- 流動性は大きく改善し、売買代金は 21.6 兆ドンだった。

VN30 指数は全体よりも緩やかな下げ (VN30 -1.36%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 2 銘柄が上昇、25 銘柄が下落、3 銘柄は変わらずだった。
- VJC (+1.94%) が大きく上昇し相場を支えた
- 一方、BID (-3.15%)、HPG (-3.23%)、MSN (-3.80%)、MWG (-3.46%) といった銘柄が大きく下落。

セクター・個別株の動き

- DGW (+2.95%) と FRT (+0.53%) は 2024 年の上半期まで VAT の引き下げ継続が承認されたことが好感された。
- NT2 (-4.91%) は発電所の点検のため、第 3 四半期に 1240 億ドンの損失を出したことから売られている。

- 外国人投資家は 4,960 億ドルの買い越しとなった。STB (-1.00%)、PVD (+2.96%)、SSI (+0.32%) は大きく買い越されていた。一方、目立った売りとしてはVHM (-2.70%) が挙げられた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。